

皆満寺通信

第15号

法語

木は光を浴びて育つ 人は言葉を浴びて育つ
あるお寺の掲示板より

この言葉は、あるお寺の掲示板に書かれていた言葉です。どなたの言葉なのか定かではありませんが、目にして以来ずっと頭の片隅にあり続けています。

わたしは一体どんな言葉にお育てを頂いてきたわたしでしょうか？それは偽りのない真の言葉でしたか？虚ろでない実の言葉でしたでしょうか？真実の教え、言葉に、私を聞き開いていく時間を大切にしていきたいものです。

報恩講はそんな願いに触れる大切な御仏事です。今年も皆さまと一緒に聴聞させていただきたく存じます。様々なご事情によりまだ一度もお参りいただけていないご門徒もおられると思いますが、ぜひ、報恩講にお参り下さいますようお願い申し上げます。

報恩講勤修

11月13日(木)～14(金)

午前10時と午後 1 時



南余間の御絵伝
親鸞聖人の御生涯が描かれています

報恩講とご先達のご法事とは実は大きな違いがあります。法事をお勤めするときに「お経」は欠かせませんが、報恩講では一切「お経」が読まれません。ご存じでしたか？その代わりに読まれるものが、「報恩講私記」・「嘆徳文」そして、御伝鈔です。

御伝鈔は、親鸞聖人の御生涯を讃嘆し描いた伝絵の延べ書きを纏めたもの、御絵伝は伝絵に画かれた絵を纏めたものです。どちらも年に一度、報恩講にしか拝読されませんし、掛けられることもありません。当寺はお内陣の南の余間に四幅の御絵伝を奉掛し、年に一度の大神事をお勤めしています。

説教／法話のご案内

13日

絵解法話 久證寺 若院 名和 正真 師

14日

法話 善慶寺 住職 住田 昭信 師

御絵伝も御伝鈔も、見聞きするだけではなかなかよく判らない。そう言う声を随分頂戴してまいりました。そこで、初日13日には御絵伝を絵説く御法話を行います。親鸞聖人の御生涯が画かれた一場面には、どんな願いがあって伝承されてきたのか？絵解き法話に親鸞聖人の御生涯を訪ねてみませんか？午前午後の2席設けてあります。お楽しみに。

14日は例年の如く、住田先生の御法話がございませぬ。午前の法要は「満座」法要で御座いますので、此方へも是非御参り下さい。

報恩講懇志のお願い

全てのご門徒の力を結集して報恩講を

ご縁を頂いている全てのご門徒の総力を結集し、本年も、報恩講志を全てのご門徒に御依頼申し上げます。将来的には報恩講志のみでの執行を目指してまいりたいと願っておりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願ひいたします。

なお、法要時の伝統であります御堂でのお志へのご理解を頂けましたら幸甚に存じます。

報恩講志 お一人2,000円以上
納入方法 振込用紙にてお振り込みいただくか直
接寺へお届け下さい。

(お参り当日でも受付にてお納めいただけます。)
※講・組所属のご門徒は例年通り、講・組でお取り纏
めいただきます。

郵便振替口座番号 00860-9-6231
加入者名 皆満寺
(手数料は当方で負担します)

報恩講の諸準備へのご協力を

報恩講は以前より皆満寺同行(講・組所属のご門
徒)を中心にお取り持ちいただいています。お同行
以外のご門徒でもお力添えいただける方がおられ
ましたらお寺までご一報下さい。自分たちの手で報
恩講を作り上げましょう。



昨年の立華の様子
様々な工夫を凝らして立華していきます。
人手不足と高齢化が進んでします。
興味がある方は是非ご一報下さい。

期 日	時 刻	内 容
11月 9日	9~12時	寺内の諸準備中心。
11月10日	9~12時	立華、荘厳準備。清掃。
11月11日	9~12時	立華、荘厳。清掃。
11月12日	15~17時	清掃、総点検。

御願い

お車でお越しの際は当寺の駐車場以外への駐車は
決してなさいませんようお願い申し上げます。特に
国道脇の駐車場は円極の駐車場なので、ご契約者
の方が大変困られますので、ご配慮下さい。

報恩講日程

11月13日(木)

午前10時「初日中」
午前11時「御伝鈔」
「絵解き法話」
正午 《お 齋》
午後 1 時「大逮夜」
午前 2 時「御伝鈔」
「絵解き法話」
午後 3 時 終了

11月14日(金)

午前10時「満日中」
午前11時「法話」
正午 《お 齋》
午後 1 時「お^ま後い」
午後 2 時「法話」
午後 3 時 終了

※法要の初めには真宗宗歌
終わりには恩徳讃を唱和します

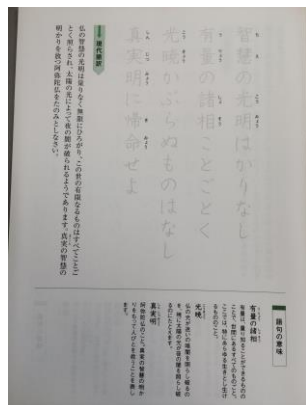
※お齋とは
仏事の合間に取る食事のことです。行事や法事後
の板洗いや精進落としては違い、仏事の一環です。
お召し上がり頂き、午後からも是非ご聴聞下さい。

書写の会 開催のお知らせ

書いて学ぶ
親鸞聖人のことば 和讃
全9回 来年1月より隔月で開催します!

1年お休みを頂いてしまいました書写の会、漸く
再開です。前回の正信偈の時と同様に、本山出版の
テキストを用いた学習会です。今回は6首ひと組の
ご和讃8組を、一回ずつ書写します。そして最終回
は、書写の会の総決算として、ご本山に一泊二日の
奉仕団として上山します。
何方でもご参加いただけます。皆さまのご参加を
お待ちしております。

参加費 500円(テキスト代)※第九回を除く



持ち物 念珠 筆記具

開催期日・時刻

2015年

- 第一回 1月13日(火) 午後3時～4時半
- 第二回 3月9日(月) 午後3時～4時半
- 第三回 5月11日(月) 午後3時～4時半
- 第四回 7月14日(火) 午後3時～4時半
- 第五回 9月14日(月) 午後3時～4時半
- 第六回 11月2日(月) 午後3時～4時半

2016年

- 第七回 1月13日(水) 午後3時～4時半
- 第八回 3月14日(月) 午後3時～4時半
- ※第九回 5月10日(火)～11日(水)

※最終回はご本山真宗本廟奉仕団への参加となりますが、改めて希望者を募って行います。冥加金とお米、京都までの交通費が別途必要となります。



正信偈書写の会の様子

本堂でお勤めをしてから、心を静めて書写します

奉仕団とは？

ご本山の境内にはある「同朋会館(どうぼうかいかん)」をご存じでしょうか？そこでは、全国から集ったご門徒が寝食を共にし、朝夕のおまいり、仏教のおはなし、膝を交えてのはなしあい、

清掃奉仕、境内の建物をめぐる諸殿拝観などを内容とした研修会が50年ほど前から行われています。それが真宗本廟奉仕団です。

日帰りバスで行くご本山参拝

本廟収骨・祖廟納骨
平成27年10月7日(水)予定

昨年のお寺として初めてご本山収骨、祖廟納骨のバス団参から早いもので一年が経ちます。本年は実施しませんが、来年の10月7日(水)に予定しています。本廟収骨の**お手続きは来年の7月以降**にさせていただきますが、ご希望の方はお寺までお知らせ下さい。

なお、席に余裕があれば、お収骨されない参拝のみご希望のご門徒にもご参加いただけますので、お寺までご相談下さい。

名古屋別院手作り朝市

名古屋別院の境内では、宗祖“親鸞聖人”のご命日(毎月28日)に朝市が開催されているのをご存じですか？約150店舗(2013年6月現在)に及び、有機無農薬の野菜、手作りのパンやお菓子、家庭料理、雑貨などの出店があり、寺コンや、寺ヨガなども行われています。時間は午前10時から午後の2時までです。お出かけしてみても如何ですか？

詳しくはコチラ↓

<http://www.ohigashi.net/sanka/year/2/38>
ブログ

<http://hbetsuin.exblog.jp>



朝市の様子です

土、日の法事のご予約はお早めに

名古屋別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

第一期法要・行事期間
2016年4月22日(金)～24日(日)

第二期法要
2016年4月26日(火)～5月1日(日)

あの震災から課題を頂いてお勤めした宗祖御遠忌から五年を経て、名古屋別院でいよいよ御遠忌法要をお勤めいたします。第二期法要期間中にバス一台での団体参拝を予定していますので、お楽しみに。

除夜の鐘・修正会の案内

大晦日恒例の除夜の鐘。お越し下さった全ての方に撞いていただきます。23時45分頃から行います。是非お参り下さい。

修正会は元日の午前10時よりお勤め致します。こちらへも是非お参り下さい。

平成27年度 行事予定表

法要・行事	月日・時刻
修正会	1月1日(木)10:00～
春の彼岸会	3月21日(土)10:00～
花祭り・初まいり	4月18日(土)14:00～
永代経	6月6日(土)10:00～
サマー寺子屋	8月1日(土)10:00～
盂蘭盆会	8月13日(木)～15日(土)
秋の彼岸会	9月23日(水)10:00～
本山収骨団参	10月7日(水)6時頃出発
納骨総経	10月24日(土)10:00～
報恩講	11月13日(金)～14日(土)
除夜の鐘	12月31日(木)23:45～
和讃の会	別記

個別にご案内のない催しもありますが、
お気軽にお出かけ下さい。

「年忌法要」は、お経を読んでもらうことで、亡き方を慰めたり、鎮めたりすることでも、福を招き、災いを除こうとするのでもありません。亡くなった方は、全生涯を通して、私に目覚めよ、という促しを、続け下さっている諸仏さまです。ご法事は諸仏さまへのお礼報謝のお仏事です。

平成27年度 年忌法要表

年忌法要	還浄年
1周忌	平成26年
3回忌	平成25年
7回忌	平成21年
13回忌	平成15年
17回忌	平成11年
(23回忌)	平成5年
25回忌	平成3年
(27回忌)	平成元年
33回忌	昭和58年
(37回忌)	昭和54年
50回忌	昭和41年

※()は慣例により行う場合があります

※HPのWEB忌日表もご活用下さい。
(ご命日を入力して年忌年をご確認いただけます)

【後書き】

1年ぶりの皆満寺通信。怠けた1年だったかと振り返ってみるも、自分なりに結構精一杯だった気がします。住職就任から6年を経て、前住職から引き継いだ職務の領域も随分増えました。如何に父を頼り、任せていたのかを思い知りました。ひとりで何でもやろうとしていてこのざまです。己の力量の見極めは大切ですね。けど、頑張りますよ。はい。

「皆満寺通信」 第15号 2014年10月14日発行

〒470-2339

愛知県知多郡武豊町下門137

真宗大谷派 皆満寺

TEL 0569-72-0435

FAX 0569-72-0740

URL <http://www.kaimanji.or.jp>

Mail info@kaimanji.or.jp